

京都

ケアマネ・ポート

KYOTO CARE MANE PORT

Contents

- 2 第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会お礼のご挨拶
第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会1日目 ご報告
- 4 第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会2日目 ご報告
- 5 公益社団法人京都府介護支援専門員会府民公開講座 ご報告
- 6 公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度第2回ブロック委員総会 ご報告
第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会 有志スタッフの皆さま お礼
- 7 平成28年度研修計画について
- 8 研修年間スケジュール（平成28年度予定）
- 10 平成28年度京都府介護支援専門員会企画研修年間スケジュール（予定）
- 11 住所・氏名・勤務先等の異動届
- 12 事務局からのお知らせ／編集後記

第15回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会お礼のご挨拶

近畿をはじめ各地より介護支援専門員の皆様方708名が京都に結集していただき、ともに熱い2日間を過ごす事ができましたこと心より感謝いたします。

これもひとえに、大会スタッフとしてご尽力いただきましたブロック委員やボランティアの皆様方のお力添えの賜物と感謝申し上げます。また会員の皆様方にも積極的に参加いただき、ありがとうございました。



他府県の皆様方より、「食支援が各地で広がるきっかけになる」「テーマに沿った運営に感動した」「最後の府民公開講座まで参加してよかった」等、数々のコメントを頂戴いたしました。大



会テーマである「暮らしをつなぐケアマネジメント～早春の京で学ぶ“守 破 離”～」は、ケアマネ道としての“破”“離”、まさしく千射万箭のヒントを得ることが出来た大会であったと自負しております。

また、当日の段取りや伝達など、不備な点多々ありましたこと紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

この大会の学びが京都の会員の皆様の益々の活躍に寄与することを祈念いたしまして、御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



(大会会長 井上 基/大会実行委員長 小林 啓治)

ご報告 第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会

1日目

2月19日(金)

■開会式

■基調講演「地域包括ケアシステムの構築に向けて」

厚生労働省老健局振興課 地域包括ケア推進官
高橋 都子 氏

基調講演では、高橋都子氏から介護保険制度改正の経緯について、「人・経済・時代に合わせて改革を続けていく必要がある」と説明され、まずは、「団塊の世代」が後期高齢者になる2025年迄に「地域包括ケアシステム」を構築する必要があると述べられました。

新しい介護予防・日常生活支援総合事業については、「地域」の中で必要とされる医療・介護・予防・生活支援と住まいについて、『住民の声』を活かしたサービスとして考え

ることの必要性に触れ、今支える側の介護支援専門員も、支えられる側の地域住民になった場合の、両面から意見することで、より具体的な「地域包括ケア」に近づいていくと結ばれていました。「地域包括ケアシステム」が、私達自身のこととして向き合うことを学んだと思います。



■特別講演

「伝統を巻き込んだ“京”の食
支援～守・破・離の仕掛け人」
京滋摂食・嚥下を考える会
代表世話人
一般社団法人愛生会山科病院
消化器外科部長
荒金 英樹 氏



■対談「伝統を考える～五感を護る食のバリアフリー」

司会：荒金 英樹 氏

スピーカー：

京料理せんしょう/日本料理アカデミー正会員
辰馬 雅子 氏
地方独立行政法人京都市産業技術研究所
デザインチーム次席研究員 竹浪 祐介 氏
京都府生菓子協同組合/きょうと食いく先生
上田 孝博 氏
公益社団法人京都府介護支援専門員会 副会長
松本 善則

荒金英樹氏の特別講演を受けて、「京」で『食』に携わるプロから食支援について学びました。

摂食・嚥下に支援が必要な人に、生命をつなぐための単なる栄養摂取の支援ではなく、「おもてなし」や「風味」を大切にしたい京料理・京菓子の考え方を活かすことで、より豊かな食の支援に結びつけられたお話を伺いました。

その中で、問題解決のための「工夫」が、その人にとって「ふつう」でなくなることの疑問や悩み、課題をクリアするために試行錯誤を重ねてきた経緯を聞くことが



出来ました。「食べながら文化を感じる」というお話を聞き、基本的なアセスメントが重要であるとともに、「その人らしさ」を大切にすることを再認識されたのではと思います。

(理事 塚田 聡)

■第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会懇親会

2月19日(金)、眼前に京都タワーを望むホテルグランヴィア京都にて、第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会懇親会が開催されました。



参加者170名の皆様が京都の風情を楽しまれ、親睦を深められました。懇親会の次第は以下のとおりでした。

(1) 萬亀楼店主、生間流式包丁家元 小西將清氏より式包丁のご披露



- (2) 京都府介護支援専門員会会長・大会会長 井上基より挨拶
- (3) 来賓の方々のご紹介
- (4) 乾杯 福富昌城氏 (京都社会福祉士会会長/花園大学社会福祉学部社会福祉学科教授)
- (5) 歓談
- (6) 一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会会長 垣内達也氏よりご挨拶
- (7) 大会実行委員長 小林啓治より挨拶

上七軒のお茶屋「市」の芸妓さん・舞妓さんによる祝舞のご披露もあり、雅やかで伝統と文化の香り高い懇親会となりました。



ご報告 第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会

2日目

2月20日(土)

分科会



分科会	分野	テーマ	担当県	座長	発表者数	参加者数
第1	認知症	認知症高齢者の生活行為向上のために	和歌山県	おぼせみつひと 小長谷恭史氏(和歌山高齢者生活協同組合)	6	135
第2	地域	地域包括ケアシステムの構築を目指して	兵庫県	おくにしえいすけ 奥西栄介氏(公立大学法人福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科教授)	7	58
第3	教育	ケアマネジャーの教育研修・人材育成(スーパーバイズ)を考える	滋賀県	いまいさとる 今井悟氏(滋賀県介護支援専門員連絡協議会)	7	150
第4	福祉	利用者の自立支援と権利擁護を考える	奈良県	たけだいちろう 武田以知郎氏(公益社団法人地域医療振興協会明日香村国民健康保険診療所)	6	68
第5	保健医療	望む暮らしの実現に向けた医療・保健領域との連携	大阪府	かしまよういち 鹿島洋一氏(公益社団法人大阪介護支援専門員協会)	7	110
第6	倫理	利用者の尊厳とケアマネジメントプロセスにおける倫理的配慮について	京都府	ふくとみまさき 福富昌城氏(花園大学社会福祉学部社会福祉学科教授)	6	39
合計					39	560

全体会

【司会】公益社団法人京都府介護支援専門員会 副会長
松本 善則

*各分科会の座長に登壇頂き、短い時間でしたが丁寧に分科会報告をして頂きました。

日本介護支援専門員協会情勢報告

一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長
鷲見 よしみ 氏

軽度者・中重度者の定義や居宅介護支援事業所の指定権限移譲、介護支援専門員の力量問題等について、国ではどのように議論されているかの報告があり、次期改定への指標となる経営実態調査(外部調査)への協力依頼がありました。



日本介護支援専門員協会の活動報告として、これまでのケアマネジャーの歩みを平成30年度の同時改定に向け発信していくと同時に、ケアマネジメントの価値を主張する職能団体として、自己研鑽と地域をマネジメント出来る人材育成・複数領域を实践できる教育・医療連携や行政との関係性等を課題として取り組む方針であると説明がありました。また、日本介護支援専門員協会会員

24807人(平成28年1月31日現在)の約3割が近畿ブロック会員であり、その期待は大きく、私たちが介護支援専門員としてあるために私たち自身が介護支援専門員としてのあるべき姿を理解し、その「想い」「声」を伝えていける強い組織をブロック・都道府県・地域組織と連携していきたいと講演頂きました。

閉会式



【謝辞】公益社団法人京都府介護支援専門員会 副会長・大会実行委員長

小林 啓治

【次回開催地よりアナウンス】

一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会 会長
かきうち たつや
垣内 達也 氏

第16回近畿介護支援専門員研究大会兵庫大会

テーマ：「人をつなぐ 地域を結ぶ

～未来を紡ぐケアマネジメント～

開催日：平成29年3月11日(土)・12日(日)

会場：ANAクラウンプラザホテル神戸

*詳細は確定次第ホームページに掲載いたします。

(理事 村上 晶之)

ご報告 公益社団法人京都府介護支援専門員会 府民公開講座

「ご飯が食べられなくなったらどうしますか？」 ～永源寺の地域まるごとケアに学ぶ～」

平成28年2月20日(土) 京都テルサにて、第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会との併催で、府民公開講座を開催いたしました。講師には「ご飯が食べられなくなったらどうしますか？ 永源寺の地域まるごとケア」(農文協)を執筆された、医学博士であり東近江市永源寺診療所所長の花戸貴司氏^{はなと たかし}を迎え、343名のご参加を得て、盛況のうちに終了することができました。以下、講演の内容をご紹介します。

「先生のご専門は？」と尋ねられた時、花戸先生は「永源寺です」と答える。講演冒頭で先生は、「医学が進歩しても、医学だけで健康を捉えられる時代ではなくなってきた」と述べられた。医師1名、看護師4名の診療所で、高齢化率30%の地域を支えているのが、三重県との県境に位置する滋賀県永源寺地区である。地区の端から端まで、車で1時間。春夏秋冬の美しい地域で先生は、地区のお年寄りが笑顔で語る「先生、はよう参らしてほしいわ」の意味を探り、悩み、実践を重ねている。講演は、1.永源寺地域での「在宅医療」、2.永源寺地域での「地域包括ケア」、3.永源寺地域で地域と共に、という3つの柱で進められた。1では、末期癌の高齢者の「治らない病気でも不幸な訳ではありません」との言葉から、「年老いても自分らしく過ごしたい」という地域の高齢者の願いと、「命だけ長らえる治療はいらない」の



気付きを語られた。2では、東近江地区の「三方良し研究会」を紹介され、「患者よし・地域良し・機関良し」を目指し、「地域をまるごとケアする」実践に

ついて話された。地域も変わらなければならない。死をタブーにせず、これでもいいのかと悩みながら考えることが、「何にも代え難い家族の時間。私には二



度とないお別れの時間」となったあるご家族が紹介される。そして、人の自立を、自分のことは自分とする日常生活の自立・お互い様と言ひ頼れる人がいる社会的自立・経済的自立、の3側面から捉え、お金が稼げ、誰にも頼らないことを自立というのではなく、日々人とのつながりを積み重ねた先に、人としての自立があるのではないかと話された。3では、中学生が登場する。脳腫瘍で他界したよっちゃんは、地元の野球チームの仲間と共に限られた時間を家で過ごした。亡くなった2年後、チームは優勝を果たし、チームメイトは「よっちゃん分まで頑張った」と語る。花戸先生は、「もしも、よっちゃんが大学病院に入院したまま、6ヶ月後に亡くなって家に帰ってきたのであれば、同級生の心の中によっちゃんは生きていたでしょうか？」と問う。そして、多くの笑顔の写真が紹介され、「病氣と闘うことと、元気に生活することは同じですか？」とさらに問いかける。「健康とは、病氣に抗うこと



ではない。“病”や“老い”を受け入れ、悩むこと。その人を支える人の存在があるということ、人として自立するということ」と述べ、講演を結ばれた。

(編集委員 佐藤 弓子)

ご報告 公益社団法人京都府介護支援専門員会 平成27年度第2回ブロック委員総会

平成28年2月20日(土)午後4時から京都テルサにて公益社団法人京都府介護支援専門員会平成27年度第2回ブロック委員総会が開催されました。

一般社団法人日本介護支援専門員協会の鷺見よしみ会長もご出席の中、下記の協議が行なわれました。

①代議員選挙の実施について

平成28年5月に選挙予定で、代議員は「社員」として正会員50人の中から1人の割合で選出され、社員総会に出席し定款第14条に係る事項について決議する。

②災害対策について

JRATやDWAT、災害についての研修会を各ブロック圏域で行なっている。現在は行政等とも調整をして動きの整理を行なっているため、今後もケアマネ・ポートやメールマガジンで報告をする。

③会員名簿の取り扱いについて

ブロック研修案内等に必要の会員名簿の使用について、使用申請書や誓約書を活用して個人情報を適切に扱うこととする。

ご多忙の中ご参加いただきましたブロック委員の皆様ありがとうございました。



(編集委員長 西村 篤)

お礼 第15回近畿介護支援専門員研究大会京都大会 有志スタッフの皆さま

大会を盛会に納める事が出来たのも、沢山の有志スタッフ皆様のご活躍があったからと感謝しております。一般参加からのスタッフの方も積極的に大会を盛り上げていただき



ました。大会準備から始まり、受付や誘導等に関わっていただいたことで、大きなトラブルなく京都の品格を

持ったおもてなしができました。2月の寒い中、早朝からお手伝いいただきまして、誠に有難うございました。京都のケアマネジャーとして先駆的な活動を盛り上げていくためにも今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



(編集委員長 西村 篤)

新たな研修体系の開始について

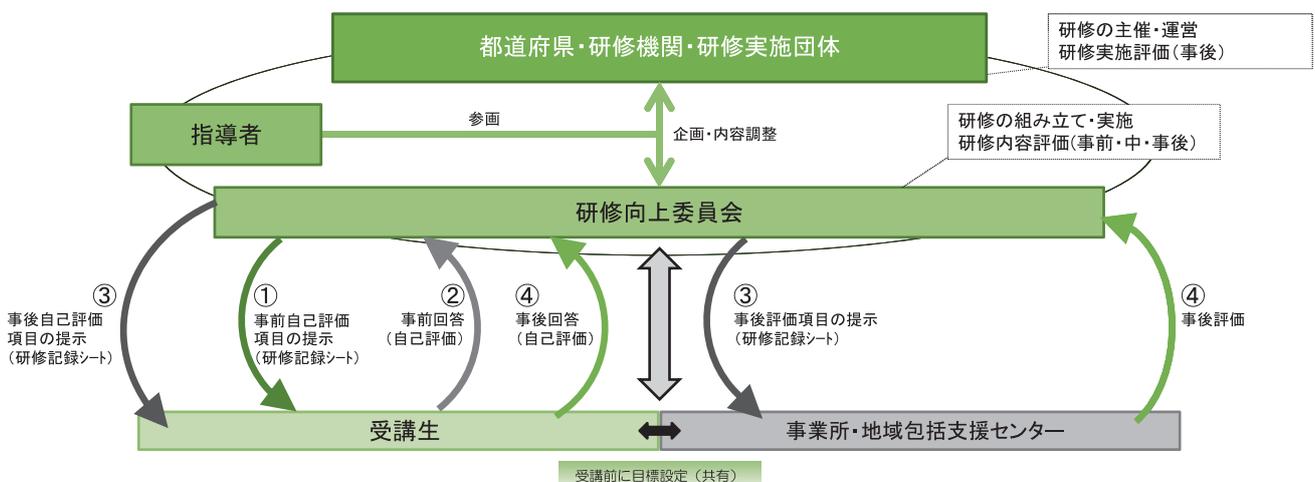
平成28年度より新しいカリキュラムによる介護支援専門員資格の更新研修（義務研修）が開始されます。受講時間が大幅に増えるだけでなく、その内容も大きく変わります。そのカリキュラム内容だけでなく、PDCAサイクルによる研修効果の測定強化がもう一つの特徴でしょう。

平成27年3月には介護支援専門員実務研修から主任介護支援専門員更新研修に至るすべての義務研修のガイドライン（案）も示され、研修内容だけでなく受講要件や研修効果の測定・評価など広範囲にわたって細かく指示されているのが特徴です。受講生自身にも所定の「研修記録シート」を使った主体的な研修参加や個別の受講管理と継続的な自己評価などが盛り込まれます。受講生は「受講前」に申し込みと共に受講するカリキュラムに沿った科目毎に関連する自分自身の課題を事業所の管理者などと相談し、個別の習得目標をそれぞれに事前設定します。「受講中」は科目毎に事前作成したチェックリストを使い受講による習熟、理解を評価します。「受講後」、それが実務のなかで反映・実践できているか？を一定期間（1～3ヶ月）の後振り返り、事業所の管理者などの客観的評価を交えて研修実施機関に報告し、同時に継続的に自己管理します。実施機関ではこれらの報告を集約・分析し研修全体の効果を測定する

とともに必要があれば研修内容を見直すよう求められることとなります。これら研修におけるPDCAサイクルは今回が初めての導入という訳ではありませんが、具体的に形が示されたことで研修の現場は大きく様変わりしていくと思います。

また、最近研修についてよく質問を受けるのは、今回より導入される主任介護支援専門員の更新制と主任介護支援専門員更新研修についての受講要件に関するものです。その要件に皆さんの関心が集まることは当然だと思いますが、もっと関心を持っていただきたいのは主任介護支援専門員更新制の背景と、その導入にあたっての趣旨の部分です。前述したガイドライン（案）のカリキュラムにある主任介護支援専門員更新研修の内容は、全課程46時間のうち42時間が指導事例（自らがケアマネジャーに対して指導を行った事例）の検討に割り当てられ、受講に際して指導事例の提出が求められます。このような扱いからも、単に法定外の研修を受講し、要件を満たしたとしても、このような日々の実践がなければ受講にあたって提出する指導事例の準備や、演習に支障が出ることは明らかです。主任介護支援専門員更新をお考えの皆さまは受講要件の確保だけでなく、求められる主任介護支援専門員として日々の実践を積まれることを祈念します。

研修評価のフロー



①～④：評価の順を示す ※研修向上委員会は、都道府県(実施主体)、研修実施機関(実施者)、指導者を含む

(副会長 松本 善則)

研修年間スケジュール（平成28年度予定）

4月	研修名	コース	会場	5月	研修名	コース	会場	6月	研修名	コース	会場
1	金			1	日			1	水		
2	土			2	月			2	木		
3	日			3	火			3	金		
4	月			4	水			4	土		
5	火			5	木			5	日		
6	水	企画	研修説明会	6	金			6	月		
7	木			7	土			7	火		
8	金			8	日			8	水		
9	土			9	月			9	木		
10	日			10	火			10	金		
11	月			11	水			11	土	企画	主任为0-777 京都大会ﾌﾟﾚ 登
12	火			12	木	企画	地域ケア会議	12	日		
13	水			13	金			13	月		
14	木			14	土			14	火		
15	金	企画	運営基準	15	日			15	水		
16	土			16	月			16	木		
17	日			17	火			17	金	企画	医療連携訪問診療
18	月			18	水			18	土		八
19	火			19	木			19	日		
20	水			20	金			20	月		
21	木			21	土			21	火		
22	金	企画	診療報酬改定	22	日			22	水	主任	前期
23	土			23	月			23	木	主任	前期
24	日			24	火			24	金	主任	前期
25	月			25	水			25	土		八
26	火			26	木			26	日		
27	水			27	金			27	月		
28	木			28	土			28	火		
29	金			29	日			29	水		
30	土			30	月			30	木	再研修	南部A
				31	火						テ

表中略記
 <研修名>
 企 画：当会企画研修
 課 程Ⅰ：更新研修課程Ⅰ
 課 程Ⅱ：更新研修課程Ⅱ
 主 任：主任介護支援専門員研修
 再 研 修：実務未経験者研修・再研修
 主任更新：主任介護支援専門員更新研修
 <会場>
 八：ハートピア京都
 テ：京都テルサ
 丹：中丹勤労者福祉会館
 み：みやこめっせ
 登：登録会館
 こ：こどもみらい館
 ハートン：ハートンホテル京都

7月	研修名	コース	会場	8月	研修名	コース	会場	9月	研修名	コース	会場
1	金	再研修	南部A	1	月			1	木		
2	土			2	火			2	金		
3	日			3	水			3	土		
4	月	主任	前期	4	木			4	日		
5	火	再研修	北部B	5	金	主任	中期	5	月		
6	水	再研修	北部B	6	土	主任	中期	6	火		
7	木			7	日	主任	中期	7	水		
8	金	主任	前期	8	月	課程Ⅱ	A	8	木		
9	土			9	火	課程Ⅱ	A	9	金		
10	日			10	水	課程Ⅱ	B	10	土		
11	月			11	木	課程Ⅱ	C	11	日		
12	火			12	金			12	月	企画	多職種連携薬と副作用
13	水			13	土			13	火		八
14	木			14	日			14	水	再研修	南部①
15	金	再研修	南部①	15	月			15	木	再研修	南部①
16	土	再研修	南部①	16	火			16	金	再研修	南部②
17	日	再研修	南部②日・祝	17	水	課程Ⅱ	B	17	土	再研修	南部③
18	月	再研修	南部②日・祝	18	木	課程Ⅱ	A	18	日	再研修	南部②日・祝
19	火			19	金	課程Ⅱ	A	19	月	再研修	南部②日・祝
20	水	再研修	北部④	20	土			20	火	再研修	南部①
21	木	再研修	北部④	21	日			21	水	再研修	南部③
22	金	企画	医療連携精神保健	22	月			22	木	再研修	南部②日・祝
23	土			23	火			23	金	課程Ⅱ	B
24	日			24	水			24	土	企画	研究大会
25	月			25	木			25	日	課程Ⅱ	C
26	火			26	金	主任	後期	26	月	課程Ⅱ	D
27	水			27	土	主任	後期	27	火	課程Ⅱ	D
28	木			28	日	主任	後期	28	水	課程Ⅱ	B
29	金			29	月	主任	後期	29	木		
30	土	再研修	南部③	30	火			30	金		
31	日	再研修	南部③	31	水						

※上記予定の研修は変更になる場合があります。
 ※各研修の申し込みについては、詳細が決まり次第ホームページにてご案内いたします。

10月	研修名	コース	会場
1	土		
2	日		
3	月		
4	火	企画 スパ・セブジョンの実践	八
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		
12	水		
13	木	課程Ⅱ 北部E	丹
14	金	課程Ⅱ 北部E	丹
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		
22	土		
23	日	課程Ⅱ C	八
24	月	課程Ⅱ D	八
25	火	課程Ⅱ D	八
26	水	課程Ⅱ 北部E	丹
27	木	課程Ⅱ 北部E	丹
28	金		
29	土		
30	日		
31	月		

11月	研修名	コース	会場
1	火		
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	課程Ⅰ 合同(南部)	み
8	火	課程Ⅰ 合同(南部)	み
9	水		
10	木		
11	金		
12	土	府民公開講座	八
13	日		
14	月		
15	火	課程Ⅰ 合同(北部)	丹
16	水	課程Ⅰ 合同(北部)	丹
17	木	課程Ⅰ a	八
18	金	課程Ⅰ a	八
19	土		
20	日		
21	月	課程Ⅰ b	八
22	火	課程Ⅰ b	八
23	水	課程Ⅱ C	八
24	木	課程Ⅰ c	八
25	金	課程Ⅰ c	八
26	土		
27	日		
28	月	課程Ⅰ d	丹
29	火	課程Ⅰ d	丹
30	水		

12月	研修名	コース	会場
1	木		
2	金		
3	土	課程Ⅰ d	丹
4	日	課程Ⅰ d	丹
5	月		
6	火		
7	水	課程Ⅰ d	丹
8	木	課程Ⅰ d	丹
9	金		
10	土		
11	日		
12	月		
13	火		
14	水	課程Ⅰ a	八
15	木	課程Ⅰ a	八
16	金		
17	土		
18	日		
19	月	課程Ⅰ b	八
20	火	課程Ⅰ b	八
21	水	課程Ⅰ c	八
22	木	課程Ⅰ c	八
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		
31	土		

1月	研修名	コース	会場
1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土	主任更新 A	八
8	日	主任更新 A	八
9	月	主任更新 A	八
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土	主任更新 A	八
15	日	主任更新 A	八
16	月	課程Ⅰ a	八
17	火	課程Ⅰ a	八
18	水	課程Ⅱ F	八
19	木	課程Ⅱ F	八
20	金	課程Ⅰ b	八
21	土	課程Ⅰ b	八
22	日		
23	月		
24	火	課程Ⅰ c	八
25	水	課程Ⅰ c	八
26	木	課程Ⅱ F	八
27	金	課程Ⅱ F	八
28	土		
29	日		
30	月	企画 ケアプラン点検	八
31	火		

2月	研修名	コース	会場
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日	主任更新 A	八
13	月	主任更新 A	八
14	火	主任更新 A	八
15	水		
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月	課程Ⅱ G	八
21	火	課程Ⅱ G	八
22	水	主任更新 B	八
23	木	主任更新 B	八
24	金	主任更新 B	八
25	土		
26	日		
27	月	課程Ⅱ G	八
28	火	課程Ⅱ G	八

3月	研修名	コース	会場
1	水	主任更新 B	八
2	木	主任更新 B	八
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木	企画 施設ケアプラン	八
10	金		
11	土		
12	日		
13	月		
14	火		
15	水		
16	木	主任更新 B	八
17	金	主任更新 B	八
18	土	主任更新 B	八
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

表中略記
 <研修名>
 企画：当会企画研修
 課程Ⅰ：更新研修課程Ⅰ
 課程Ⅱ：更新研修課程Ⅱ
 主任：主任介護支援専門員研修
 再研修：実務未経験者研修・再研修
 主任更新：主任介護支援専門員更新研修
 <会場>
 八：ハートピア京都
 テ：京都テルサ
 丹：中丹勤労者福祉会館
 み：みやこめっせ
 登：登録会館
 こ：こどもみらい館
 ハートン：ハートンホテル京都

平成28年度京都府介護支援専門員会企画研修 年間スケジュール(予定)

<平成28年2月現在>

研修名	講師	開催日	時間	開催場所	備考
ケアマネジメントスキルアップコース					
運営基準に沿った居宅介護支援の実務 ～法令遵守のためにするべきこと～	医療法人三幸会 井上 基 氏	2016 4/15	18:30～ 20:00	ハートピア京都 3階大会議室	
診療報酬改定から見える次期介護報酬改定	メディカル・テン 代表 宮坂 佳紀 氏	2016 4/22	18:30～ 20:00	こどもみらい館 第1研修室	会員限定
地域ケア会議における介護支援専門員の役割	京都市小川地域包括支援センター センター長 長谷 かおり 氏	2016 5/12	10:30～ 16:00	ハートピア京都 4階第4・5会議室	
開業医との連携 ～訪問診療の実際から学ぶ～	医療法人理智会 たなか往診クリニック 院長 田中 誠 氏	2016 6/17	14:00～ 16:30	ハートピア京都 4階第4・5会議室	
医療連携精神保健	京都市こころの健康増進センター 所長 波床 将材 氏	2016 7/22	14:00～ 16:30	ハートピア京都 4階第4・5会議室	
多職種連携(薬と副作用)	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 臨床薬学教育研究センター 教授 鈴木 匡 氏	2016 9/12	14:00～ 16:30	ハートピア京都 3階大会議室	
ケアプラン点検	一般財団法人仁風会 嵯峨野病院 在宅事業部長 川添 チエミ 氏	2017 1/30	14:00～ 17:00	ハートピア京都 4階第4・5会議室	
栄養アセスメント	公益社団法人京都府栄養士会	2月	午後	ハートピア京都 (予定)	
施設ケアプラン ～施設ケアマネジャーに求められるものとは～	医療法人永和会 老人保健施設かなえ 施設長 小山 峰志 氏	2017 3/9	14:00～ 16:30	ハートピア京都 4階第4・5会議室	
主任フォローアップ研修					
研究発表を学ぶ、京都大会プレ大会	花園大学 社会福祉学部 教授 福富 昌城 氏	2016 6/11	10:00～ 16:00	登録会館	
スーパービジョン	日本地域福祉研究所 主任研究員 國光 登志子 氏	未定	10:00～ 16:00	ハートピア京都 (予定)	
スーパービジョンの実践	京都福祉サービス協会 高木 はるみ 氏	2016 10/4	10:00～ 16:00	ハートピア京都 4階第4・5会議室	
研究大会					
第5回京都府介護支援専門員 研究大会	—	2016 9/24	10:30～ 16:30	ハートンホテル京都	
第16回近畿介護支援専門員 研究大会	—	2017 3/11-12		ANAクラウンプラザ ホテル神戸	
第10回日本介護支援専門員協会 全国大会	—	2016 10/15-16		ロイトン札幌	

※上記企画研修は、京都府が平成28年度からの介護支援専門員研修カリキュラムの改正に伴い、「主任介護支援専門員更新研修」の受講要件として認めている研修です。

※上記予定の研修は変更になる場合があります。

※各研修のお申込みにつきましては、詳細が決まり次第ホームページにてご案内いたします。



京都府介護支援専門員会会員登録
住所・氏名・勤務先等の異動届

(届出日: 年 月 日)

会員番号		氏名	
------	--	----	--

1. 氏名の変更

新	ふりがな		旧	ふりがな	
	氏名			氏名	

2. 住所の変更

新	住所 (自宅)	〒 — — — —			
	電話 (自宅)	—	—	FAX (自宅)	— —
	携帯電話	—	—	メールマガジン 配信	希望する ・ 希望しない ※どちらかに○をお願いします。
	メール アドレス	パソコン			
携帯					

3. 勤務先の変更

新	勤務先	名称			
		事業所番号			
		種別	居宅介護支援事業所 ・ 介護老人福祉施設 ・ 介護老人保健施設 ・ 介護療養型医療施設 地域包括支援センター ・ 小規模多機能型居宅介護 ・ 認知症対応型共同生活介護 特定施設入所者生活介護 ・ その他()		
	介護支援専門員としての勤務状況		<input type="checkbox"/> 現任 <input type="checkbox"/> 非現任 <input type="checkbox"/> 一度も勤務していない		
	所在地 (勤務先)	〒 — — — —			
電話 (勤務先)	—	—	FAX (勤務先)	— —	

4. 資格の変更

1) 介護支援専門員番号(8ケタ)
(※未登録の方は以下にご記入ください)

--	--	--	--	--	--	--	--

2) 主任介護支援専門員について
(※過去に京都府以外で取得された方、新たにご取得された方はご記入をお願いします)

証書交付日	年 月 日		
交付自治体	<input type="checkbox"/> 京都府	※左記のあてはまるものに チェックをお願いします。	
	<input type="checkbox"/> 上記以外	※都道府県名を以下にご記入ください。 ()	

届出はこちらまでお願いします。



公益社団法人京都府介護支援専門員会 事務局

- ・ FAXの場合: 075-254-3971
- ・ 郵送の場合: 〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375
京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)7階

事務局からのお知らせ

■ 平成28年度公益社団法人京都府介護支援専門員会代議員選挙について

定款第11条5項に基づき、平成28年5月に代議員選挙を実施いたします。代議員選挙に立候補される方は、ホームページにて定款、規程、細則をご確認いただき、必要書類をご提出いただきますようお願いいたします。

1. **立候補者資格**：①京都府介護支援専門員会の正会員(当法人定款第5条(1))であること。
②当法人正会員3名からの推薦があること。
2. **提出物**：①代議員〔様式・代1〕立候補届出書 ②代議員〔様式・代2〕立候補者推薦届出書
①②を平成28年5月10日(火)必着にて、下記事務局宛に郵送してください。
本会ホームページ⇒「各種様式ダウンロード」に掲載しておりますので、ダウンロードしてご提出ください。
3. **選挙結果**：5月11日(水)に立候補状況を確認して、本会ホームページ⇒ブロック活動のページに掲載いたします。

■ 会員証について

平成28年3月15日(火)までに平成28年度会費を納入いただいた会員様には会員証を同封しております。平成28年度会費未納の会員様につきましては、今後のサービスが停止となりますのでご了承ください。下記口座へのご入金をご確認ください。次第サービスを再開させていただきます。

会費振込先：京都銀行 府庁前支店 普通口座 4151049 シャ)キョウトフカイゴシエンセンモンインカイ

編集後記

平成28年4月1日から「障害者差別解消法」が施行されているのをご存知でしょうか？ この法律は、障害を理由とした「不当な差別的取り扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」という二本柱で構成されています。「不当な差別的取り扱いの禁止」とは、公的機関や民間事業所すべてに、障害者に対するの支援制限や拒否等の不当な対応の禁止を義務づけています。また「合理的配慮」とは、障害者から社会的障壁の除去を必要とする意志表明があった場合に、過度な負担にならない範囲で個別の状況に合わせた対応を行う事が、公的機関には義務として、企業や民間事業者には努力義務として位置づけられています。ここで言われている障害者とは、障害及び社会的障壁により日常生活や社会生活に制限を受けているすべての人を指しています。今一度私たちのまわり、そして私たち自身を見直し、誰にとっても暮らしやすい環境を目指しましょう。

(常任理事 柴田 崇晴)

京都ケアマネ・ポート51号

2016年5月1日発行

発行人：井上 基

編集委員長：西村 篤

広報部会編集委員：柴田 崇晴 塚田 聡 村上 晶之 佐藤 弓子 中嶋 優 松本 善則 堀田 裕

発行元 公益社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 京都府立総合社会福祉会館7階

TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971

E-mail: info@kyotocm.jp URL: http://kyotocm.jp/